

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『しばふって、いいな!』

文/レオーネ・アデルソン
絵/ロジャー・デュボアザン
出版社/瑞雲舎

何も無いように見える“しばふ”には、草の間からいろいろな虫たちが見えてくるよ。それに、草は牛たちにはごちそうで…。自然豊かな絵本です。



『やっぱり しごとば』

作/鈴木 のりたけ
出版社/プロンズ新社

大人気のしごとばシリーズから新しい本が出ました。今度のしごとばは、厩務員、プロサッカー選手、恐竜学者や、探検家など、子どもたちに人気の仕事の内容を紹介した1冊です。



『青春サプリ。いつだってそこに仲間がいる』

文/日比野 恭三
田中 夕子・青木 美帆
絵/くじょう
出版社/ポプラ社

5つの部活動をテーマにした、中高生向けの青春ストーリー。いつだって仲間がいる、心が元気になる、いつでも勇気もらえる物語です。



『ドラえもんを本気でつくる』

著/大澤 正彦
出版社/PHP研究所

「ドラえもんを作りたい。」子どものころからロボットを作っていた著者が、最新のAIやHAIをもとにミニドラづくりに取り組んでいる様子を紹介。未来について考えさせられる1冊です。



『クスノキの番人』

著/東野 圭吾
出版社/実業之日本社

解雇された職場に盗み入り逮捕された主人公は、弁護士費用を支払ってくれた伯母からクスノキの番人をするように命じられ…不思議な力を持つクスノキにまつわる物語。読み終えた人が、明日に希望を持てるようにと思いをながら書かれた1冊です。



『富永愛 美の法則』

著/富永 愛
出版社/ダイヤモンド社

究極の美肌術、ボディメイク、美しい歩き方、食べ方、仕事、美の哲学…バリコレをはじめ、世界最高峰の美の価値観に触れてきたからこそ語れる「美の法則」について、世界的トップモデルが、美の法則を公開している1冊です。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	図書館のイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き当面の間 中止 とさせていただきます。皆さんの安心・安全のため、ご理解をお願いします。	
永田記念図書館		

今日の休館日 永田記念図書館：5日(火)、12日(火)、19日(火)、26日(火)、31日(日)

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎22-9182
南部公民館図書室	☎22-9191
生月図書室	☎22-9202
田平町中央公民館図書室	☎22-9211
大島村公民館図書室	☎55-2511

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
携帯電話からQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



各地域の食生活改善推進員が紹介します! 38

今月のレシピ

問 健康ほけん課健康づくり班 ☎22-9125

『とうもろこしと枝豆の炊き込みご飯』

【材料(4人分)】

米……………2合	しらす干し……………20g
冷凍コーン……………80g	A 酒……………大さじ1
冷凍枝豆……………140g	
水……………400cc	

【作り方】

- ① 米は洗って炊飯器に入れ、水としらすを入れて30分以上おく。
- ② 枝豆は解凍して、さやから出しておく。コーンも解凍しておく。
- ③ ①にAを加えてさっと混ぜ、②の材料を加え、炊飯器で普通に炊く。
- ④ 炊き上がったら10分ほど蒸らし、さっくりと混ぜ合わせる。

【栄養(1人分)】

エネルギー 319kcal たんぱく質 7.9g 脂質 2.3g 食塩相当量 0.7g



枝豆の栄養をまるごと

枝豆は大豆の未熟豆のことを指し、枝つきのまま茹でて食用にしたことが名前の由来です。豆と野菜両方の栄養的特徴を持つ緑黄色野菜で、タンパク質・ビタミンB1・ビタミンB2・カルシウム・食物繊維・鉄分などが豊富に含まれています。



中部支部 むつば会
まつやま としこ
松山 敏子さん

毎月19日は「食育の日」です!

「古写真」から見る平戸の記憶遺産 vol.14

問 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143

「雪の日の登校」

右上の写真は、昭和30年ごろの幸橋周辺の様子です。雪が積もる中、風呂敷包みを小脇に抱えた小学生が、幸橋を通り学校へ登校しています。幸橋の端には、雪で滑らないよう「むしろ」が敷かれています。その脇では雪で滑った男子とその友人たちがおり、当時の賑やかな通学の様子が見て取れます。幸橋の奥には、木造家屋に大きな「一楽食堂」の看板が掲げられ、手前には映画のポスターが張られています。

現在の幸橋周辺は、昭和30年ごろと比較すると道路整備や建物改修などにより、その見た目は変化していますが、今も多くの人たちが往来しています。江戸時代から変わらぬ姿で残っている幸橋、変化しながらもその土地の記憶を刻み続ける市街地の風景。古写真を通すと、日常の風景がまた違ったものに見えるかもしれません。



昭和30年(1955年)ごろの様子



現在の様子